

貝塚市の位置・面積



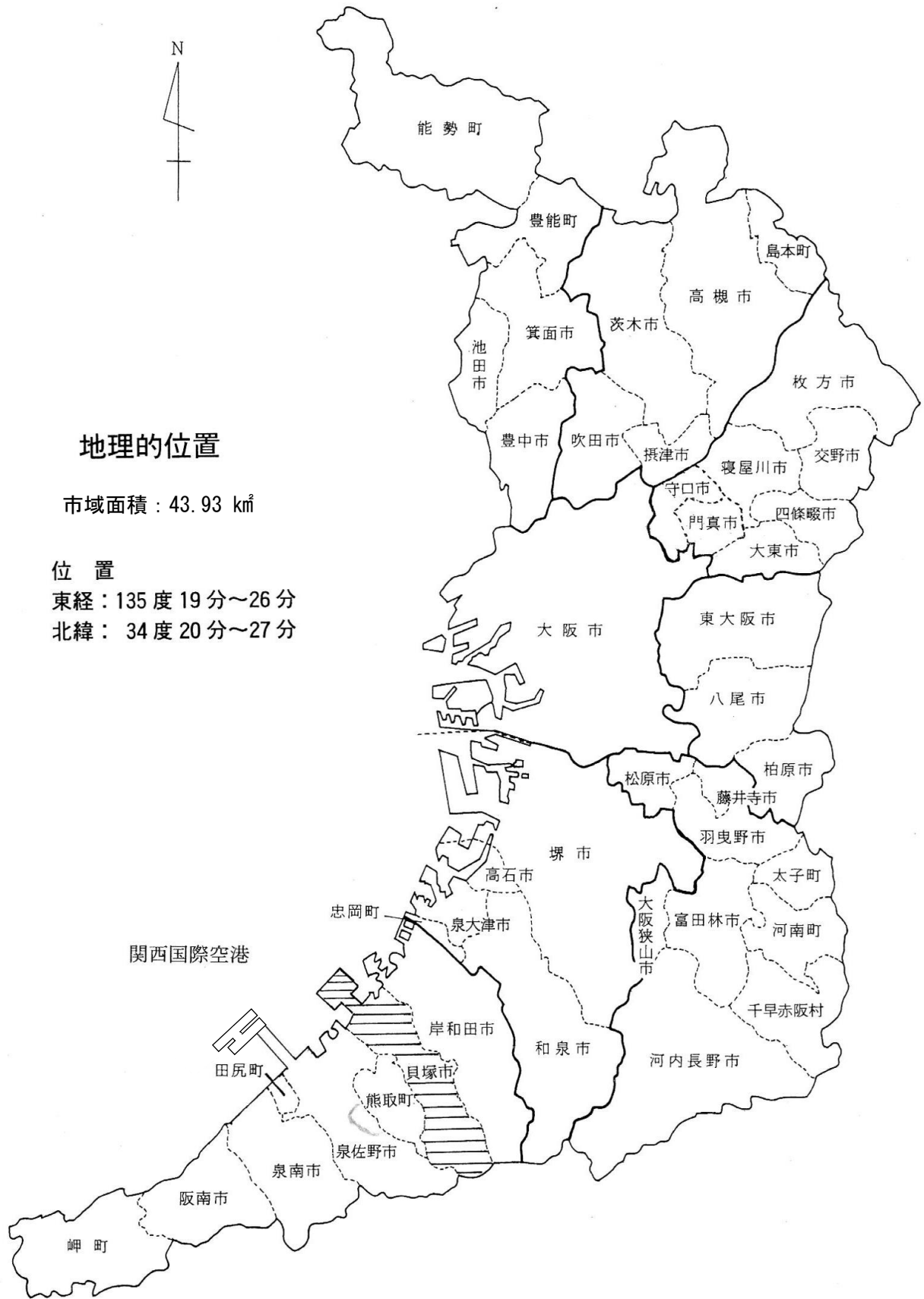
地理的位置

市域面積：43.93 km²

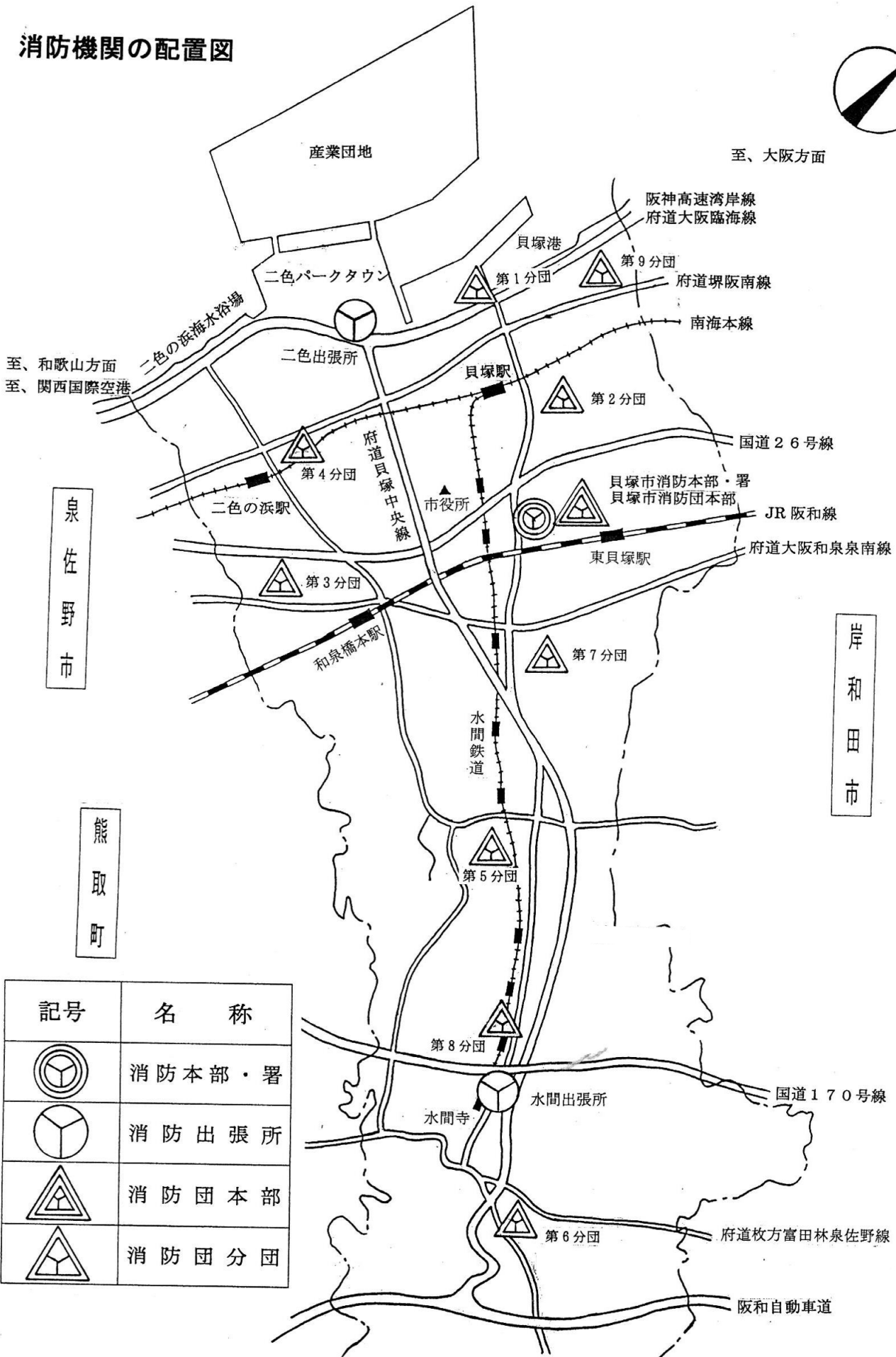
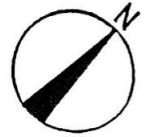
位置

東経：135度19分～26分

北緯：34度20分～27分



消防機関の配置図



記号	名称
	消防本部・署
	消防出張所
	消防団本部
	消防団分団

消防本部の沿革

年	月	概 要
昭和20年	6月	特別消防署規程により官設貝塚出張所開設（貝塚市海塚323）
昭和21年	9月	官設三ツ松出張所開設（木島小学校隣接）
昭和23年	2月	貝塚市消防署開設（貝塚市海塚323）
昭和23年	3月	消防組織法(昭和22年法律第226号)の施行により、貝塚市消防本部、消防署（定数40人）発足、（1本部1署1出張所実数24人、本部（署）貝塚市海塚324、三ツ松出張所 木島小学校隣接）
昭和23年	9月	貝塚市危険物品保安協会創立
昭和24年	1月	消防出初式を籠池（脇浜）にて開始
昭和24年	3月	三ツ松出張所廃止、水間出張所開設（水間寺前）
昭和25年	12月	大阪府知事より感謝状を受章（ジェーン台風襲来時の活動功績）
昭和26年	4月	消防本部（署）庁舎竣工、（貝塚市海塚328）
昭和28年	11月	大阪府知事より表彰状を受章（台風13号襲来時の活動功績）
昭和29年	4月	消防職員定数42人に条例改正
昭和33年	3月	国家消防本部長より消防本部、消防団に竿頭綬を受章
昭和35年	1月	消防職員定数41人に条例改正
昭和38年	10月	救急業務を開始（本署配置）
昭和39年	3月	消防庁長官より消防本部（署）に表彰旗を受章
昭和39年	4月	消防職員定数43人に条例改正
昭和39年	8月	水間出張所庁舎竣工（貝塚市三ツ松750-8）
昭和41年	1月	消防出初式を現市役所前に移行し実施
昭和41年	7月	消防職員定数45人に条例改正
昭和42年	6月	消防庁長官より表彰状を受章（南海電鉄車両転覆事故時の活動功績）
昭和44年	10月	消防職員定数44人に条例改正
昭和45年	4月	消防職員定数45人に条例改正
昭和48年	4月	消防職員定数48人に条例改正
昭和49年	5月	消防本部に課制実施、2課（総務課、警防課）
昭和50年	3月	消防本部（署）庁舎竣工、（貝塚市鳥羽122-1）
昭和51年	3月	大阪府知事より貝塚市危険物品保安協会に褒章を受章
昭和51年	10月	内閣総理大臣より貝塚市危険物品保安協会に紺綬褒状を受章
昭和52年	4月	消防職員定数50名に条例改正
昭和52年	5月	貝塚市危険物品保安協会を貝塚市火災予防協会に改称
昭和52年	7月	消防庁長官より貝塚市火災予防協会が国民の安全の日にあたり表彰状を受章
昭和53年	4月	本部機構を改革、予防課を新設3課制（総務課、警備課、予防課）
昭和54年	4月	消防職員定数52名に条例改正
昭和54年	9月	内閣総理大臣より貝塚市火災予防協会に紺綬褒状を受章
昭和55年	12月	貝塚市幼少年婦人防火委員会、貝塚市少年消防クラブ、貝塚婦人防火クラブ、貝塚婦人消防隊発足

昭和57年10月	消防職員定数54名に条例改正
昭和59年9月	貝塚市幼年消防クラブ発足
昭和61年3月	消防庁長官より貝塚市少年消防クラブに表彰状を受章
平成元年4月	消防職員定数59名に条例改正
平成2年3月	近畿自動車道岸和田以南の供用開始により水間出張所に救急隊を新設
平成2年4月	消防職員定数68名に条例改正
平成2年8月	二色出張所庁舎竣工（貝塚市二色2-2-1）
平成3年4月	消防職員定数74名に条例改正
平成5年4月	消防職員定数81名に条例改正
平成5年9月	貝塚市自治体消防発足45周年記念式典並びに消防フェアを開催
平成6年5月	貝塚市少年婦人防火委員会を貝塚市幼少年婦人防火委員会に改称
平成6年9月	水槽付消防ポンプ自動車（水1-A型）日本損害保険協会より寄贈される (本署に同年10月配置)
平成7年1月	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）に応援出動
平成7年5月	消防庁長官より阪神・淡路大震災における消防応援活動の功勞により感謝状を受章
平成8年1月	高規格救急車運用開始（本署配置）
平成8年10月	消防職員委員会設置
平成10年10月	貝塚市自治体消防発足50周年記念式典並びに消防フェアを開催
平成11年10月	貝塚市自治体消防発足50周年記念事業の一環として、職員の手作りによるミニ消防自動車及び火災・救急件数等掲示板を製作・完成
平成12年3月	高規格救急自動車、大阪府モーターボート競走会より寄贈される (二色出張所に同年4月配置)
平成13年3月	救急自動車（2B型）全国共済農業協同組合連合会大阪府本部より寄贈される (水間出張所に同年4月配置)
平成14年4月	水難救助隊発足
平成15年10月	水間出張所に高規格救急自動車を導入（緊急消防援助隊登録） (水間出張所に同年10月配置)
平成18年3月	高機能消防指令センターを導入
平成18年3月	消防本部庁舎耐震補強工事完了
平成18年4月	消防職員定数83名に条例改正
平成18年9月	消防ポンプ自動車（CD-I型）（二色出張所に同年9月配置）
平成19年9月	消防ポンプ自動車（CD-I型）（水間出張所に同年9月配置）
平成20年11月	高規格救急自動車を更新（本署配置）
平成21年2月	水間出張所庁舎竣工（貝塚市三ツ松750-8）
平成21年10月	二色出張所高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊登録） (二色出張所に同年11月配置)
平成21年10月	25m屈折梯子付消防自動車を導入（本署に同年10月配置）
平成22年9月	水槽付消防ポンプ自動車を導入（水1-A型）（本署に同年10月配置）
平成23年3月	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に緊急消防援助隊出動

平成23年10月	全国消防長会会長より東日本大震災における消防応援活動の功績により表彰状を受賞
平成23年11月	総務大臣より東日本大震災における消防応援活動の功績により表彰状を受賞
平成24年1月	水間出張所高規格救急自動車を更新（水間出張所に同年1月配置）
平成24年3月	大阪府知事より東日本大震災における消防応援活動の功績により表彰状を受賞
平成24年3月	消防職員定数86名に条例改正
平成24年7月	東日本大震災における消防応援活動の功績により大阪の消防大賞特別賞を受賞
平成26年7月	消防救急デジタル無線を導入
平成27年1月	本署高規格救急自動車を更新（本署に同年1月配置）
平成28年3月	消防庁長官より消防本部・消防団が竿頭綬を受章
平成28年4月	係制を廃止し、担当制を導入
平成28年4月	平成28年熊本地震に緊急消防援助隊出動
平成29年1月	二色出張所高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊登録） （二色出張所に同年1月配置）
平成29年2月	消防庁長官より熊本地震における緊急消防援助隊出動の功績により表彰状を受賞
平成29年4月	消防職員定数90名に条例改正
平成30年7月	平成30年7月豪雨に緊急消防援助隊出動
平成31年2月	消防庁長官より7月豪雨における緊急消防援助隊出動の功績により表彰状を受賞
令和2年10月	高機能消防指令センターを更新

消防相互応援協定等締結状況

協定名	締結日	締結機関
船舶火災の消火に関する業務協定	昭和44年 9月 5日 (平成25年 4月 1日再締結)	大阪海上保安監部、岸和田市、貝塚市、忠岡町、泉州南消防組合
航空消防応援協定	昭和45年10月 1日 (平成22年 4月 1日再締結)	大阪市、貝塚市
阪和林野火災消防相互応援協定	昭和47年 4月 1日 (平成25年 4月 1日再締結)	河内長野市、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町、泉州南消防組合、和歌山市、橋本市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、那賀消防組合、伊都消防組合
大阪府南ブロック消防相互応援協定	昭和53年 6月20日 (平成25年 4月 1日再締結)	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉州南消防組合、和泉市、高石市、忠岡町
大阪府下広域消防相互応援協定	昭和63年 9月 1日 (平成27年 9月 1日再締結)	大阪府下各市町村
阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定	平成 2年 3月29日 (令和元年 9月5日再締結)	堺市、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉州南消防組合、那賀消防組合、和歌山市、海南市、有田川町、湯浅広川消防組合、日高広域消防事務組合、御坊市、田辺市
阪神高速道路における消防及び救急等の業務に関する協定	平成 6年 4月 2日	阪神高速道路株式会社、貝塚市
関西国際空港消防相互応援協定	平成 6年 6月21日 (平成28年 6月 1日再締結)	大阪市、堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、和泉市、高石市、忠岡町、泉州南消防組合、関西エアポート株式会社
救急医療相談業務に係る応援協定	平成22年12月 1日	大阪市、貝塚市
特定接種の接種体制に関する覚書	平成28年 5月 2日	市立貝塚病院、貝塚市消防本部